

⑤-1 図書館と類縁施設を知る 舞鶴市立東図書館 訪問ヒアリング記録

日時：令和3年10月22日(木)午後2:40～

場所：舞鶴市立東図書館

出席：舞鶴市立東図書館：竹之内館長、河田主任（両名とも司書）

市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長

寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○施設概要

- 建設：1989年、延床面積：1,014m²、構造：RC一部S造平屋建
- BDS 盗難防止ゲート/システムなし

○資料概要（令和2年度）

詳細は図書館年報令和2年度に詳しい。

- 蔵書：12.4万冊（開架8.7万冊、閉架3.7万冊、双方満杯状態）
磁気テープやICチップの装備を図書にしていない。
- 蔵書の内訳：一般図書9.0万冊、児童書3.4万冊
(東西図書館それぞれの分類別蔵書構成の割合は左下表に転載)
- 雑誌127タイトル、新聞16紙、視聴覚資料1099点
- 全国同規模都市比較からは年間資料費が少ない印象がある。

○利用状況（令和2年度）

*感染症拡大のため1ヶ月の休館あり

- 個人貸出冊数：12.4万冊、貸出者数：6,061人
- 団体貸出冊数：1.3万冊、のべ利用団体数：446
- 全市登録率35%、市民1人年間貸出冊数3.17冊、
全市ネットワーク展開が弱く、登録や貸出数の成長が足踏み状態。

○施設状況<建築的課題>

- 雨水漏水の修繕をたびたび行っている。（屋上か高窓廻りか）
- トイレは和便のみ、改修が必要。（給排水管設備も心配）
- 空調機の効きが悪い（旧型ファン機器を修繕して使っている）
- 空調機の老朽化（故障すると交換部品が無い）
- 書架間通路幅など新バリアフリー法規格にあっていない（w1.2m）
- 西と南の日差しが入る構造でプライド調光や遮熱断熱に課題

○施設状況<図書館機能的課題>

- 開架、閉架ともに満杯の状況。（現施設収容力自体が小さい）
30万冊開架への成長不可、書庫積層化で集密型導入できず、
- 対面朗読室が2室あるが、利用無く、資料庫化している。
- 開架書架は高書架だが6段で7段化できない寸法構造。
- カーポットコーナー/共用お話室は、防音性能や集中性には不十分。
- 読書テラスがあるが、防犯看視や管理区画に対応できていない。
- 新聞現物保存方法と収納架の対応が、過渡的なままで不十分。
- 書庫上層への図書搬出入昇降が人力で重労働か。

東図書館の蔵書構成

	一般書	児童書
0総記	1,454	227
1哲学・宗教	1,991	120
2歴史・地理	6,018	1,183
3社会科学	9,173	1,037
4自然科学	4,811	2,473
5技術・工学	5,174	736
6産業	2,136	504
7芸術	5,577	1,276
8語学	1,096	245
9文学	22,185	9,008
絵本	70	7,261
紙芝居	0	551
参考資料	1,433	206
郷土資料	768	6
開架計	61,886	24,833
閉架	28,588	8,715
合計	124,022	



閉架書庫。積層書庫の上階は固定架で8段だが天板の上まで資料が載り、満杯の状況。



サービスデスクに対して垂直に書架がならぶ。
開架冊数87,000冊。新刊や企画展示が意欲的。



サービスデスク手前側に9門を高書架で配架。
高窓からの採光天井に工夫も効果薄い。



入口から左に子ども開架、じゅうたんコーナー。
絵本がならぶ。コンテナも動員して配架している。



6段高書架で開架配架。通路幅、窓際に読書席がならぶ。

⑤-1 図書館と類縁施設を知る 舞鶴市立西図書館 訪問ヒアリング記録

日時：令和3年10月21日(木)午後3:30～

場所：舞鶴市立西図書館

出席：舞鶴市立西図書館：西駄館長、岡山主任（両名とも司書）

市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長
寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○施設概要

- 建設：1990年、延床面積：919m²、構造：RC造 平屋建
- BDS 盗難防止ゲート/システムなし

○資料概要（令和2年度）

詳細は図書館年報に詳しい。

- 蔵書：11.8万冊（開架7.6万冊、閉架4.2万冊、双方満杯状態）
磁気テープやICチップの装備を図書にしていない。
- 蔵書の内訳：一般図書8.5万冊、児童書3.3万冊
(東西図書館それぞれの分類別蔵書構成の割合は左下表に転載)
- 雑誌124タイトル、新聞18紙、視聴覚資料1140点
- 全国同規模都市比較からは年間資料費が少ない印象がある。

○利用状況（令和2年度）

*感染症拡大のため1ヶ月の休館あり

- 個人貸出冊数：12.6万冊、貸出者数：6,483人
- 団体貸出冊数：1.8万冊、のべ利用団体数：533
- 利用状況は、西図書館が東図書館を上回っている。
- 近年利用が上がっている高野・中筋地域には新興住宅地がある。
全市ネットワーク展開が弱く、登録や貸出数の成長が足踏み状態。

○施設状況<建築的課題>

- 雨水漏水の修繕をたびたび行っている。（屋上か高窓廻りか）
- トイレは改修が必要。（給排水管設備も心配）
- 空調機の効きが悪い（旧型ファン機器を修繕して使っている）
- 空調機の老朽化（故障すると交換部品が無い）
- 書架間通路幅など新バリアフリー法規格にあっていない（w1.2m）
- 西と南の日差しが入る構造でプライド調光や遮熱断熱に課題

○施設状況<図書館機能的課題>

- 開架、閉架ともに満杯の状況。（現施設収容力自体が小さい）
30万冊開架への成長不可、書庫積層化で集密型導入できず、
- 対面朗読室が2室あるが、利用無く、資料庫化している。
- 開架書架は高書架だが6段で7段化できない寸法構造。
- カーポットコーナー/共用お話室は、防音性能や集中性には不十分。
- 読書テラスがあるが、防犯看視や管理区画に対応できていない。
- 新聞現物保存方法と収納架の対応が、過渡的なままで不十分。
- 書庫上層への図書搬出入昇降が人力で重労働か。

西図書館の蔵書構成

	一般書	児童書
0総記	1,354	183
1哲学・宗教	2,169	156
2歴史・地理	5,936	991
3社会科学	7,117	948
4自然科学	3,838	2,210
5技術・工学	4,379	762
6産業	1,432	453
7芸術	4,441	1,189
8語学	1,132	326
9文学	19,676	7,342
絵本	0	6,523
紙芝居	0	606
参考資料	977	135
郷土資料	1,634	1
開架計	54,085	21,825
閉架	31,187	10,764
合計	117,861	

閉架書庫。積層書庫だが上階は固定架。新聞の現物保存がスペースを取り、閉架図書42,000冊で余裕なし。



サービスデスクに対して垂直に書架がならぶ。
開架冊数76,000冊。書店のようなテーマ展示。



入口脇に新聞雑誌コーナー。平机に新刊や企画展示を工夫して演出している。配置の工夫し尽くしている。

⑤-1 図書館と類縁施設を知る 舞鶴市立図書館中分館 訪問ヒアリング記録

日時：令和3年10月21日（木）午後1：50～
場所：複合施設中総合会館 中公民館内 中分館
出席：舞鶴市中公民館：三浦氏（公民館兼務）
市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長
寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○設置場所と設備

- 複合施設中総合会館1階、中公民館内に設置。97.3m²
学校の教室標準が64m²なので、1.5教室のひろさ。
- 複合施設には、保健センター、デイサービスセンター、子育て支援センター、福祉協議会、地域包括支援センター等が入っていて、相乗的なついでの利用が魅力という。

○資料管理と貸出方式

- 蔵書は10,000冊程度。電算化や分類統計、防犯装備はない。
雑誌15タイトル、新聞5紙、紙芝居240タイトル程度
資料構成は、児童書、9門が中心。
- 貸出は逆ブラウン式。利用プライバシーは守られている。
資料には期限表を付けている。資料の動きを把握できる。
- 利用登録者は6,785人。（令和2年度）
- 東図書館、西図書館では分館の蔵書構成を把握していない。
- 組織上は図書館の分館となっているが、実態は公民館図書室。

○中分館の資料費

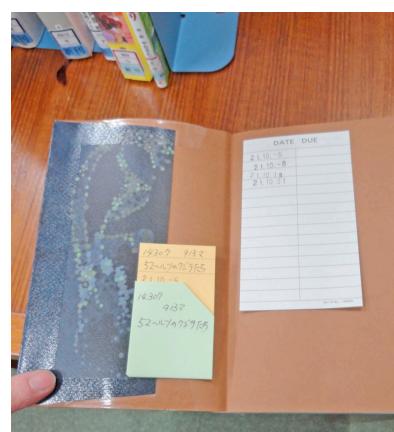
- 予算：65,000円程度（例年：令和2年度は追加予算あり）
- 資料購入、資料費負担、装備は東図書館。選書は分館。
- 購入希望（選書）は中公民館から出している。

○中分館のサービス

- 貸出：1人3冊、2週間まで
- 予約受付：中分館の資料のみ
- カウンター業務は公民館職員が行っている。司書非配置。
(図書館との兼務辞令なし、公民館職員として対応)
- 東、西図書館の資料の返却・予約受け渡しは行っていない。
- I C T環境、利用者端末、インターネット環境無し。

○利用者のようすと課題

- 中総合会館と併せて利用されているようだ。
親子連れや高齢者などが多い。
- 児童書や9門の人気が高く、実用書はあまり動かない。
- 資料・職員・施設の図書館3要素の指標からは発展性が弱い。



期限表をつけています。



貸出は逆ブラウン式で利用守秘。



中総合会館1階入口脇にある。公民館事務室と接している、カウンター業務は公民館職員が行っている。



読書机8席、ソファ1席があり、新聞・雑誌・絵本・紙芝居もある。整理行き届く。利用繁忙の乱れ無し。



資料構成は児童書と9門の割合が多い。全集目立つ。



VTR視聴席があり、A V資料は著作権処理されている。
行政資料・パンフレット等も閲覧可能。

⑤-1 図書館と類縁施設を知る 舞鶴市立図書館南分館 訪問ヒアリング記録

日時：令和3年10月22日（金）午前10：40～
場所：南公民館内 南分館
出席：舞鶴市南公民館：前羽館長、澤野氏
市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長
寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○設置場所と設備

- 南公民館1階の入口すぐの位置にある。42.0m²。
学校の教室標準が64m²なので、0.7弱教室のひろさ。

○資料管理と貸出方式

- 蔵書は7,000冊程度。電算化や分類統計、防犯装備はない。
(開架7000冊には見えなかった) 雑誌5タイトル、新聞2紙、児童書3,500冊、実用書800冊、9門1,500冊、文庫、絵本
- 貸出は逆ブラウン式。利用プライバシーは守られている。
資料には期限表を付けている。資料の動きを把握できるが。
- 利用登録者は2,473人。（令和2年度）：中分館の36%程度。
- 資料の廃棄は東図書館に依頼している。
- 東図書館、西図書館では分館の蔵書構成を把握していない。
- 組織上は図書館の分館となっているが、実態は公民館図書室。

○南分館の資料費

- 予算：55,000円程度（例年：令和2年度は追加予算あり）
- 資料購入、資料費負担、装備は東図書館。選書は分館。
- 購入希望（選書）は南公民館から出している。

○南分館のサービス

- 貸出：1人3冊、2週間まで：1日の平均来館者数が不明。
- カウンター業務は公民館職員が行っている。司書非配置。
(図書館との兼務辞令なし、公民館職員として対応)
- 東、西図書館の資料の返却・予約受け渡しは行っていない。
- I C T環境、利用者端末、インターネット環境無し。

○利用者のようすと課題

- 児童書や9門の利用が中心、実用書はあまり動かない。
- 東図書館と南分館を使い分ける利用者は少ないようだ。
- 高齢者、図書室を目的に来館した親子連れが見られる。
- 試験前の中高生で、読書席がいっぱいになることもある。
- 南公民館で活動している朗読ボランティアグループがある。
対面朗読、イベントや学校で活動しているようだ。
- 東図書館の資料を返却したいという希望は、時々ある。
- 資料・職員・施設の図書館3要素の指標からは発展性が弱い。



貸出は逆ブラウン式。



南公民館 市内でも利用が多い。1階入口脇に南分館がある。耐震診断済み、補強の必要は無しに。



読書机12席 中高生の利用も多いがコロナに不適。



新聞2紙、文庫がならぶ。点字版辞書の蔵書があるが、南公民館で点字ボランティアの活動は無い。



雑誌5タイトル。バックナンバーも配架されている。

⑤-1 図書館と類縁施設を知る

舞鶴市立図書館加佐分館 訪問ヒアリング記録

日時：令和3年11月10日(水)午後1：30～

場所：加佐公民館内 加佐分館

出席：舞鶴市加佐公民館：澤田館長、眞下氏(司書有資格)

市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長

寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○設置場所と設備

- ・加佐公民館1階の入口すぐの位置にある。50.5m²
学校の教室標準が64m²なので、0.7弱教室のひろさ。
- ・前面道路より高台だが過去に河川氾濫浸水被害があった。



加佐公民館・市役所加佐分室 1階入口脇に、加佐分館がある。広域な加佐地域支援の重要な拠点施設。



読書机4席、コロナ対策も手作りで対応されている。

○資料管理と貸出方式

- ・蔵書は10,500冊程度。電算化や分類統計、防犯装備はない。
雑誌15タイトル、新聞1紙。
児童書3,700冊、一般書6,700冊 紙芝居、絵本あり。
浸水の影響で蔵書の入れ替えがあり、新しい本が多い。
- ・貸出は逆ブラウン式。利用プライバシーは守られている。
資料には期限表を付けている。資料の動きを把握できる。
- ・加佐地域は広く利用登録者は81人と少ない。(令和3年10月)
- ・東図書館、西図書館では分館の蔵書構成を把握していない。
- ・組織上は図書館の分館となっているが、実態は公民館図書室。

○加佐分館の資料費

- ・予算：55,000円程度(例年：令和2年度は追加予算あり)
- ・資料購入、資料費負担、装備は西図書館。選書は分館。
- ・購入希望(選書)は加佐公民館から出している。

○加佐分館のサービス

- ・貸出：1人3冊、2週間まで・広域な地区で利用拡大に限界性。
カウンター業務は公民館職員が行っている。司書有資格者在籍。
(図書館との兼務辞令なし、公民館職員として対応)
- ・東図書館、西図書館の資料の返却のみ可能。(市の連絡便使用)
予約は受付なし。依頼があれば目録等の蔵書検索を職員が行う。
- ・ICT環境、利用者端末、インターネット環境無し。

○利用者のようす、分館運営上の工夫と課題

- ・学校帰りや親子での利用がある。(貸出増大傾向かは疑問)
- ・新刊のチラシ作成したところ、利用者が増えた。
公民館のふれあい講座などで、分館のPRを行っている。
- ・高齢者向けにはハードカバーの購入を多くしているが、
若者向けは文庫本を選定。(配架や予算上の工夫が棚に見える)
- ・資料・職員・施設の図書館3要素の指標からは発展性が弱い。



一般書は9冊比率が高い。全集ものを下段に置く等配架の工夫をしている。棚に手が入っているが。



雑誌15誌、読書席の近くに辞典類の禁帶出資料。
展示配架に工夫や手を入れて場を創っている。



紙芝居・絵本・児童書が蔵書の約6割。新刊本は妻側の目立つところに配架など工夫されている。

⑤-1 図書館と類縁施設を知る

大浦会館 訪問ヒアリング記録

日時：令和3年11月11日(水)午前9：10～

場所：大浦会館 図書室

出席：舞鶴市大浦会館：澤田氏、河合氏(司書有資格)

市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長

寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○図書室の設置場所と設備

- ・広域な大浦地域の南端、中心市街地からの導入部拠点に、公民館大浦会館があり、その1階にある。51m²
学校の教室標準が64m²なので、0.8教室のひろさ。
- ・大浦会館周辺は、小学校、放課後児童クラブ、こども園、デイサービスなどが集中している地域支援の拠点である。
各種送迎の時間には住民関係者が集まりやすい。



大浦会館 まわりに小学校・こども園・デイサービスセンターがある。



読書机8席、蔵書は児童書を中心。

○図書室の運営

- ・貸出は行っていない。
- ・室内の閲覧のみ。資料補強は弱い。
- ・図書の閲覧を目的とした来館は見られない。

○大浦小学校区地域放課後児童クラブ

- ・図書室で運営している活動団体。
図書室の児童書を読む子どももいる。

○大浦会館の利用者

- ・山越えの北側海岸沿い集落など大浦地区に住んでいる方は漁業就業など忙しいのか、あまり会館の利用がない。
東舞鶴など中心地区的利用者のはうが多いように感じる。
- ・自家用車での利用が多い。

○大浦地区の生活像、住民の移動の概況

- ・大浦小学校への通学：スクールバス、1km圏内は徒歩。
- ・沿岸から東舞鶴駅までの自主運行バスがあるが、本数が少なく、バス料金は高額である。
- ・買い物は、車で中心部へ行く。生協の宅配を利用する人も。
移動販売車「とくしま」が定期的に廻っている。
- ・舞鶴市地域づくり振興課が若い世代の定住者を呼び込むプロジェクトを行っている。キャンプ場や体験農場の開設などが進んでいる。



図書室で大浦小学校区地域放課後児童クラブが運営されている。

○現況の課題と将来的な可能性

- ・現在は図書分館ではなく、大浦地域にサービス拠点はない。
- ・広域な大浦地区に住む多世代の居住者には、小学校、こども園、デイサービス、大浦会館（公民館）の4施設が集約した界隈は、今後も重要な社会接点であり、公共サービス支援拠点になろう。
- ・図書館サービスシステムのアウトリーチサービス拠点として、可能性と重要性を感じさせるポイントに位置づけられる。
今後、BMサービス拠点もしくは分館化などの可能性研究は、意味が大きいのではないだろうか。



図書室の蔵書は、室内での閲覧のみ。

⑤-1 図書館と類縁施設を知る

舞鶴市多世代交流施設まなびあむ 訪問ヒアリング記録

日時：令和3年10月22日（金）午前11：20～

場所：多世代交流施設まなびあむ

出席：多世代交流施設まなびあむ：福田館長

市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長

寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○開館の経緯

- ・東公民館と老人福祉センター「文庫山学園」を移転・統合。
- ・旧市民病院西棟を改修して整備された。令和3年7月開館。



まなびあむ外観 旧病院である様子がよくわかる。

○利用者のようす

- ・開館以来、施設全体の利用者が増え続けている。
- ・施設全体は、平日の昼間の利用が多い。
- ・東図書館が近く、資料少なく、現状図書室の利用は少ない。



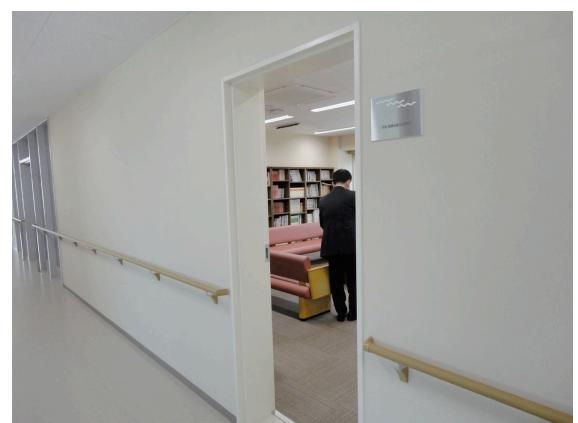
施設周辺は広々としていて、駐車スペースも充分。B.M拠点としても活動がしやすい。

○今後の活動について

- ・自主講座の拡充を計りたいという方針がある。
- ・公民館で活動できなかったNPOやボランティアグループにも利用を広げたい。

○障がい者の働く場について

- ・1階カフェはテナントで飲食業者が営業している。
- ・みずなぎ学園のパン販売が行われている。
- 各事業所がお店を営業していることもあって、公共施設で営業しているところは無い。



図書・健康促進コーナーの入口

○図書・健康促進コーナー

- ・蔵書は図書館の除籍本などが中心で、利用は少ない。
- ・閲覧のみで、貸出は行っていない。
- ・壁付書架、ソファ一席とヘルストロンが設置されている。

○今後の図書館のサービス拠点として

- ・現状では、図書室は狭く資料は補強されない。
- 図書館分館を設置する余裕はなく、拡大も難しい。
- ・図書館資料の予約受け渡しや返却は、不可能ではない。（職員手配の問題はあるが）
- ・農協店舗もあり集客力は大きく、余裕のあるロビーを活用するなど図書コーナーの拡大も場をイメージできるが、資料の安全管理や貸出し予約などの「分館としての変更」には課題が多いように観察された。
- （火災時の避難通路内の不燃化など）



⑤-1 図書館と類縁施設を知る

舞鶴市郷土資料館 訪問ヒアリング記録

日時：令和3年11月11日（木）午前10：20～

場所：舞鶴市郷土資料館舞鶴ふるさと発見館（西総合館内）

出席：舞鶴市郷土資料館：吉岡館長

市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長

寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○郷土資料館と図書館の資料の持ち合いについて

- ・近世・近代の一次資料は郷土資料館が保管している。
- ・市史編纂で集めた資料のうち、個人蔵のものは持ち主に返却している。
- ・昭和50年に郷土資料館ができるまでの資料は図書館にある。
- ・図書館と郷土資料館では、保存資料の目録を持ち合っているので、連絡はよくとれている。
- ・図書館のレファレンスを郷土資料館に引き継ぐことは頻繁にある。

○資料の保存状況について

- ・30年の間に郷土資料館は3回移転している。
- ・ふるさと発見館の資料庫は湿度管理ができる。
- ・赤レンガ倉庫や廃校になった小学校に保存している資料があるが、保存環境は脆弱である。（現物資料系と思われる）

○新中央図書館での資料サテライト展示の可能性について

- ・図書館は利用者が多いので、サテライト展示は有効だろう。レプリカ展示などで興味を持ってもらい、図書館を入口に郷土資料館の集客に結びつけられるとよい。
- ・50～60m²程度の企画展示スペースがあれば、郷土資料の企画展示がやりやすい。展示が無いときは市民グループに利用してもらうとよいのでは。

○糸井文庫、古地図のコレクションについて

- ・古地図のレプリカは図書館で展示可能。（大型地図架などで）図書館には海図もコレクションされているが。
- ・古地図は書籍化、糸井文庫の浮世絵コレクションは電子データ化されている。インターネットでも閲覧可能。

○専門的利用者グループの存在と今後の連携について

- ・「地方史研究会」が公民館で活動している。近世が専門で、郷土資料館の一次資料を利用することもある。
- ・会員の論文や研究成果の目録は電子データ化されていて、図書館とも共有している。
- ・新中央図書館とその資料群の奥に、郷土に係る専門的知識を有す郷土資料館があり、今後も協力連携が重要であると確認された。

※訪問の2週間後のTV「アザーストーリー」では、金閣寺炎上、水上勉、舞鶴市につながる事件と縁起について、脚光が当てられていた。



展示・受付の手前には資料コーナーがあり、ヒアリングの間にも閲覧に訪れる利用者がいた。



舞鶴ふるさと発見館 入口のようす



近代までを紹介するパネル展示



日本海交易、城下町の歴史文化を紹介する展示



糸井文庫 浮世絵コレクションはインターネットで閲覧ができる。

⑤-2 舞鶴市図書館と類縁施設を知る<その課題>

□ふたつの同規模の中心館、東館と西館の課題とは：

開館30年、床面積約1000m²、同規模資料世界を持つふたつの中心館は同様な課題を抱える。

- 9万冊程で収容限界を迎えた、利用席スペースも狭い開架室。
- 4万冊程収蔵で満杯。集密書架導入に床強度不足の閉架書庫。
- 開架資料の配架や書庫資料整理の統合が出来ない二館体制。
- 図書館員の配置ローテーションや連携が難しく、非効率な現二館体制。
(アウトリーリーサービスや夜間開館の人員配置増や人件費増大への方策が難しい)
- 全市域サービス展開へのBM書庫や車庫が増築できない裏方。
- 防水、水回り改修、など施設維持改修は時期が同時で費用が二倍。
- フロンガス空調設備交換は天井内装の解体復旧を伴う大工事となり、工事休館や工費捻出が近い将来に同時期に想定されているが、投資に対する上記図書館機能サービスの改善効果が期待できない。

- ・ 現状施設維持に係る課題。
- ・ 中央図書館への機能発展に係る課題。
- ・ 改修費用投資に係る課題。
- ・ 中央図書館への投資効果に係る課題。

☆ 目指す方向性は、

- 舞鶴市全域につながる<図書館システム(中央館 + 分館群 + BM + サービス拠点群)>の再編
- 舞鶴市全域サービスを動かす中枢運営施設<センターとしての中央図書館>の整備
- 専門性が深く、広い情報世界を表出できる<地域生活に役立つ中央図書館>の創出

☆ 現東館西館の全市図書館システムにおける将来的あり方について、計画編で総合的に協議します。

□公民館図書室のような3分館の課題とは： たとえば、再編後に、<2C + 3B> → <1C + 5~6B + BM> C:センター中心、B:ブランチ分館、

図書館分館(南公民館・中公民館・加佐公民館)名称だが、旧来の公民館図書室機能であり、近隣在住の固定的利用者に利用されている。運営に専門性蓄積や中央館連携や機能分担がなく、孤立無援的な苦境と展望が見えるが、全館奉仕の重要な拠点であり改善が望まれる。BMアウトーリーサービスと連携する地域奉仕拠点として以下の課題への解決方策が必要にならう。

- 資料：情報目録共通化、ICT連携、配架構成、資料入替え。(動かない本が並んで)
- 職員：兼務辞令、専門的研修、中央館職務連携、職員組織化。(利用者要求に個人対応)
- 施設：客層と要求を知るコンビニ店舗商売のしつらえと居心地を(狭い店で孤立無援で)
→図書館施設網の再編では、中央館は利用頻度の低い資料の収容と新鮮資料の供給を担う。
「地域固定拠点・分館」は「子ども資料・読み物・居場所・情報端末」など特化の研究を。

□類縁施設としての公民館図書室の課題とは： 全市図書館システム連携策も考えたい。

分館としては位置づけられていない公民館図書室(大浦会館・城南会館・まなびあむ)は近隣在住の長年の固定的利用者に利用されている。が、全国公民館図書室の先例のように、限定的な室規模や資料費規模や運営体制のためサービスの質と量に経年成長が起こらない。その魅力と利用者階層や利用数の増大が図られない体制的課題を、将来に渡り抱えている。

- 地域生活支援拠点としての図書分館でない。(センターから資料供給やネットワーク運営がない)
- 中央図書館との役割分担、限定的開架室での効果的資料表現が弱い。(つながらない)
- 魅力が低い(情報ツールがない、本が古く少なく貸さない、居心地が悪い、職員に頼れない)
→図書館施設網の再編にともない「図書館サービスの地域拠点」と位置づけられた図書室は、分館化やネットワーク化研究を。多機能が集約する「あそびあむ」界限も可能性が高い。

□連携が模索される小中学校図書館の課題とは：

少ない資料環境や司書教諭ご担当の繁忙な現状ではあるが、朝読書の普及や学級文庫による読書環境の担保もあり、市民ボランティアや公共図書館の出張奉仕が25校学校図書館の支えとなっている。が、教育を支える効用や情報センター図書館への成長/展望は見えない。課題は、文科省が長年進める「学校図書館図書整備等5カ年計画」理念との乖離にある。

- 学校図書館図書標準にもある「毎年の充分な図書資料費の補填」(補助金の活用)
- 学校図書館の「情報センター」としての資料構築と、利用リテラシー教育(スキル習得)
- 教師と学校図書館を支える「学校司書」の配置。(授業や公共図書館との連携コーディネート)
- 学校図書館の投資効果を自己検証する統計分析と研究。(先進事例の教研連携型研究)
→学校教育センターの学校図書館成長政策と、公共図書館基本計画での連携支援策の研究を。

※フロン2020年問題と東館・西館施設大改修工費の発生
30年前導入の空調機冷媒フロン22は世界的に条約で生産が中止され、代替フロンR410に転換が進みます。地球環境問題への施設対応ですが、この時、天井内の室内機や室外機や配管の全交換が必要で大工事費が必要です。当面は移行の過渡期で、R22残材での補充や、交換部品が無い旧内外機器の修繕でしのいでますが、2026年付近が限度であり、将来的施設対応方針が喫緊です。

※築30年東西館施設維持改修
建築施設を長く使い続けるために、定期的維持改修工事費が必要です。屋上屋根防水、鉄部や外壁メンテ、給排水配管トイレ改修、断熱性能向上やLED照明省エネ化も必要です。両館維持に大経費が予測されます。

※BMアウトーリーサービス
自動車図書館(とくしま丸販売のように)による郊外地域や学校幼稚園などへの出張巡回サービス。

※「第2期舞鶴市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和2年」
<いつまでも学び活動を続けることができるまちづくり> 27頁には。

- 多様な学びと交流の提供
 - ・ 住民1人ひとりが孤立することなく、地域社会を構成していくよう、社会的包摂に寄与する学びを提供します。
 - ・ 公民館は地域の拠点施設として、幅広い世代の住民が集い交流する場を提供することで、地域の活性化と、地域課題への多世代連携による対応力の強化を図ります。

- 本を通じての学びや地域及び生活課題の解決支援
 - ・ 読書会などの学びの場を設けるとともに、地域や市民生活の課題解決に役立つ情報を提供できるよう図書資料の充実を図ります。

※「舞鶴市教育振興大綱平成31年」
<舞鶴市総合計画>と<国の教育振興基本計画>にもとづく教育行政の基本方針 5頁と4頁には。

- 学校公共図書館連携につながる、4. 地域社会で支える教育と子育て支援の充実
 - (1) 家庭・地域との連携による~
 - (2) 社会教育団体等との連携~

- 学校図書館充実につながる、2. 子どもを育てる教育環境の充実
 - (2) 情報活用能力の育成をはじめ、教育の情報化を推進するための基盤となるICT(情報通信技術)環境の整備促進や~教育環境の充実を図ります。

など、このたびの図書館基本計画の上位計画としての方針がある。